

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

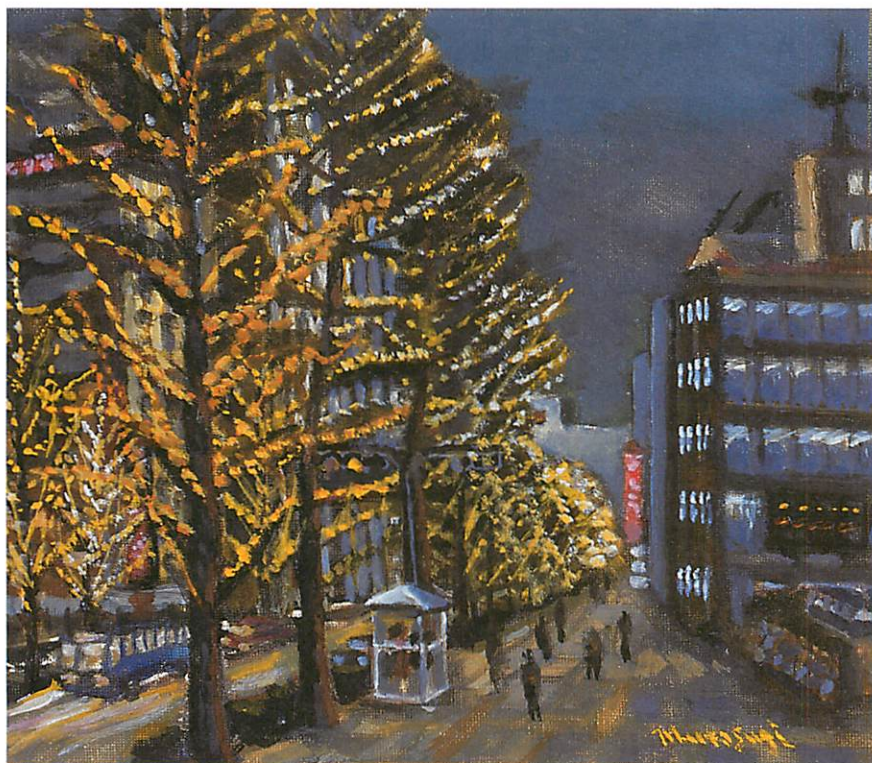
月刊ステージ・アップ

up

'99
12

月号【1日発行】

◇お知らせ
2000年新春号の発行は1月7日(金)です



いまを話す

劇作家で「地域を創る川崎演劇座」代表
岡部 耕大 さん
甦った夢見ヶ崎伝説
題材、役者、川崎に根ざす

美しい川崎を求めて

表紙絵を描き終えて 村楳 広義

「ステージ・アップ」誌の今年
の表紙絵を新春号から飾らせてい
ただくようになって、まもなく一
年になります。この間、たくさん
の読者の方々から、温かい励まし
やご批評をいただいたことを心底
より感謝しております。

さて、「ステージ・アップ」誌で
自分の作品を毎号見るようになって、
複雑な気持ちになりました。
充実感や喜びがある半面、構図や
遠近感、色彩などについて、反省
することも多々あったからです。
ときには、「読者にこ不快を与え
たのでは」と胃が痛むような緊張
を覚えたこともあります。

顧みますと、(財)川崎市生涯学
習振興事業団から「ステージ・ア
ップ」誌の表紙絵を描く機会を与
えられ、初めて知った川崎の名所
や関連施設も少なくありませんで
した。モチーフ探しに、さまざま
な所を見て回り、今までの自分が
「川崎都民」であったことに気づ
きました。そして「素晴らしい川

崎」を発見して、新鮮な驚きの中
で絵筆をとることができました。
雪の道を歩き、かじかんだ手を擦
(こす)りながらスケッチをした
日本民家園(新春号)、マイカーの
窓から見る見事な美しさの落葉
(から)松林に見とれた秋の八ヶ
岳川崎市民休暇村(十月号)など、
十枚のすべての絵に強い愛着があ
ります。

絵の良し悪しの尺度に、技術上
の表現より「作品に『作家の感性
による訴えかけ』『精神的内面感
情の発露』が表現されているかど
うか」を重視する大会派絵画展の
審査員が多いそうです。御誌表紙
の私の絵が、この二つの尺度を少
しでも満たしていれば幸いです。
私は今後とも生涯学習という、終
着駅のないロングレール“を走り
続けたいと考えています。

末文で恐縮ですが、御誌編集チ
ームの方々のご助言と、印刷会社
「ガリバー」の技術に、心からお礼
を申し上げます。

Stage Up 12 月号もくじ/1999年

■ほんねインタビュー いまを話す 3

「地域を創る川崎演劇座」代表

岡部 耕大 さん

甦った夢見ヶ崎伝説

題材、役者、川崎に根ざす

■はりきつてます グループ紹介 8

エイズの乳児に「おくるみ」送る

ABCキルト川崎支部

体験や感動をつづる

自分史たま川の会(川崎区)

●学習・文化情報/会員募集 10

川崎市岡本太郎美術館がオープン 15

●12月19日に開く1000人によるポレロ/裏表紙

□表紙絵……ファンタジー かわさき(市役所通り)

村楳 広義 さん

(小誌は再生紙を使用しています)

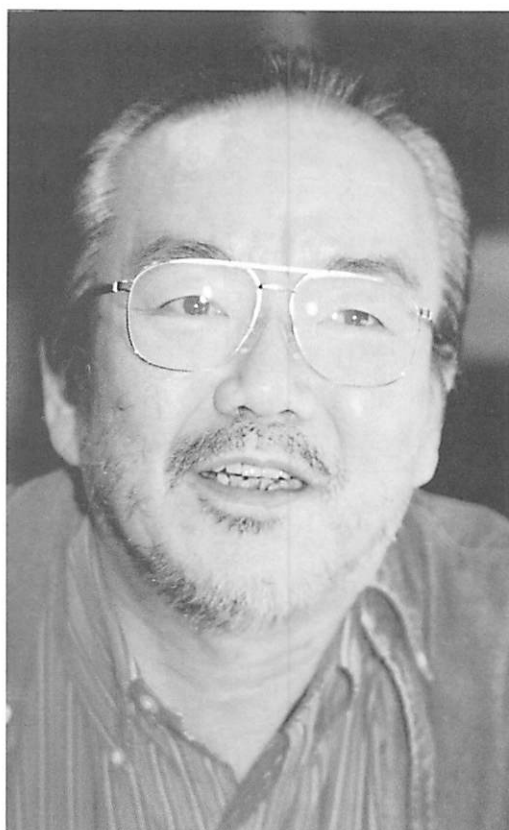
いまを話す

ゲスト

劇作家で「地域を創る
川崎演劇座」代表の

岡部 耕大 さん

Vol.80



甦った夢見ケ崎伝説

結成から2年
10月公演成功

題材、役者、川崎に根ざす

夢見ケ崎伝説が、「地域を創る川崎演劇座」(代表・劇作家の岡部耕大さん)の手によって甦(よみがえ)った。高津市民館での十月公演「鯨(くじら)の見た夢」がそれ。室町時代の武将、太田道灌がこの地を訪れ「夢見が悪かった」と築城を取りやめた伝説を現在につなげた舞台。岡部作品を座員が脚色・演出したもの。結成からわずか二年。日本劇作家協会新人戯曲賞優秀賞受賞の丸尾聡さん(35)の指導・協力も大きい。岡部流アマチュア演劇人育成術は「地域に住む人たちが、演劇に触れ合い創る楽しさや喜びを一緒に感じ合う」を理念に、脚本づくりなどの演劇の基本を徹底させる指導法にあるようだ。聞き手はFM K-Cityの秋山雅子さん。

——岡部さんが代表をなさっている「地域を創る川崎演劇座」の本公演が十月十日、高津市民館で二ステージありましたが、楽しく鑑賞させていただきました。

岡部さん ありがとうございます。ご覧になっての感想はいかがですか(にこやかに)。

——川崎演劇座を立ち上げられたのは二年前の一九九七年九月でしたね。ほとんどの団員が素人の方なのに、わずか二年間でせりふを覚え、堂々と、自然に演技をされていました。まず、そのことに

驚かされました。

岡部さん 川崎演劇座は、立ち上げた時から神奈川県からの支援を、その後、川崎市からも応援を得ましたが、行政の方々も秋山さんと同じようなことをおっしゃっていましたね。

——十月公演の演目は「鯨(くじら)の見た夢」でしたが、そのエピソードについてお話いただけますか。

岡部さん 「鯨の見た夢」は、僕が昨年書いた「新大久保の猫」を川崎演劇座バージョン(脚色)にしたものです。川崎版にアレンジしたのは、おもに団員の勝目美起さん(32)です。勝目さんは、高津区に住んでいるフリー編集者で、川崎の歴史や民話の知識が豊富な人で、新大久保のネコを見事に川崎のクジラに変身させましたね(冗談をまじえて)。

また、演出は、若手劇作家の丸尾聡さん(35)に頼みました。彼もこの近く(多摩区)に住んでいて、第一回日本劇作家協会新人戯曲賞優秀賞を受賞した経歴があり、「世の中と演劇するオフィスプロジェクトM」という劇団の代表をしています。彼には、脚色も見て

道灌がいい夢見ていたら 江戸城の築城なかった？

もらいました。彼が川崎演劇座に加わったことで、彼の仲間が新たにわれわれの輪に入り、今後、この地域に住む多くの演劇人たちの関係が密になってくるといいな、と思っています。演劇人は、案外閉鎖的で、「お山の大将」という人が多いのですが、そろそろそこから脱皮しないとね。

——十月の川崎演劇座公演を観られなかった読者のために「鯨の見た夢」の「あらすじ」を紹介してくださいいますか。

岡部さん 「鯨の見た夢」の舞台が川崎市幸区なので、機会があればを再演したいと思っています。

「鯨の見た夢」何日君来

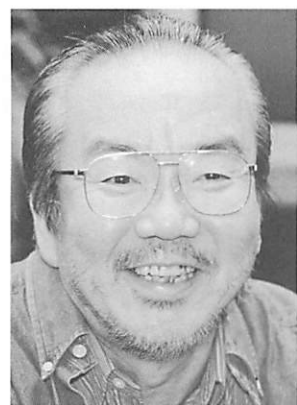
あらすじ(原作・岡部耕大「新大久保の猫」脚色・勝目美起、丸尾聡)タウン紙記者、日向修介(48)は、川崎市幸区南加瀬の夢見ヶ崎に取材に来て、不思議な少女まひると出会う。まひるは、修介が果たせなかった

「昔の夢」を思い出させるのである。修介の夢、それは「クジラ」の写真を撮り続けることなのだが……。かつて、この地を訪れた太田道灌が、縁起の悪い夢を見て築城をあきらめたことから、夢見ヶ崎の名が付いている。修介の夢は、中年になった今になって実現するのか。白昼夢なのか、少女まひるは？

——「鯨の見た夢」の役者さん数人の職業と年齢が分かると親近感が増すと思うのですが……。

岡部さん タウン紙記者を演じた吉田忠廣さん(40)は会社の社長▽その亡き妻役の河野美菜さん(30)は会社員▽亡き妻の妹でスナック経営者役の吉川愛さん(28)も会社員です。けいこの時はみんな夢中ですよ。

——ところで、川崎で演劇を立ち上げようと思われたきっかけは。岡部さん 僕は長崎県松浦市の生まれで、川崎に住んで二十四、



五年になります。長い間、川崎は家に帰るだけのところでした。それが最近「川崎が僕のふるさと。僕はここで死ぬ」と思うようになってしまして。そんなとき、たまたま、向ヶ丘遊園駅前の飲み屋で出会った人たちと話をしていた。「演劇を通じて、まちを活性化できれば」と考えたのです。そこへ神奈川県の方から要請があつて「それじゃ」ということになったのです。

——その飲食店で会ったのは演劇関係の方々だったのですか。

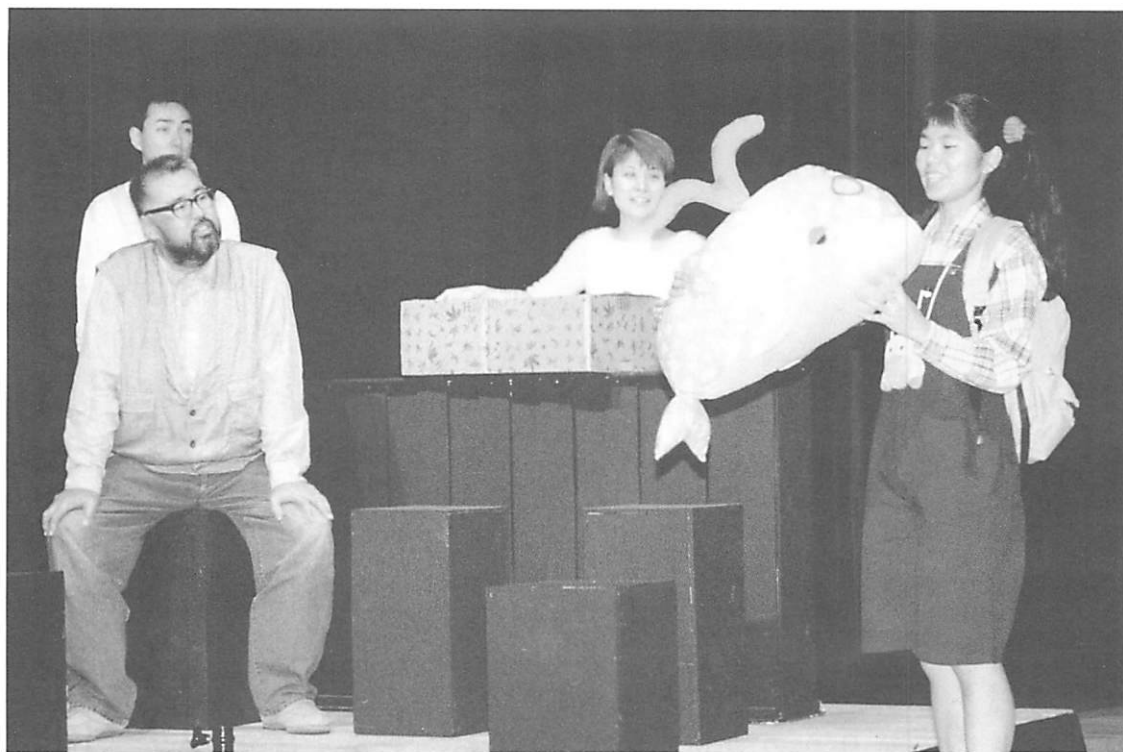
岡部さん いやいや、みんな違った職業の人たちです。東京周辺に住んでいる人は地元意識を持たずに過ごしている人が多いのですが、腹を割って話してみると、みんな自分の住んでいる地域のことも考えていたのですね。

——演劇を通して、地域を創るといふ意味は？

岡部 耕大 さん

おかべ・こうだい=1945年、長崎県松浦市生まれ。65年、東海大学文学部広報学科中退。70年、「トントン」を処女作として劇団「空間演技」を設立。78年、「肥前松浦兄妹心中」で岸田戯曲賞。88年、「亜也子」で紀伊國屋演劇賞個人賞。95年、「戦後50年特別企画2本立て」として「精霊流し」「鬼火」を紀伊國屋ホールにて上演。現在、「西海演劇塾」塾長、「長崎岡部演劇塾」塾長、「地域を創る川崎演劇座」代表。多摩区東生田在住。

岡部さん 世の中、便利になって、人と人が直接会わなくてもインターネットやファクスで伝達することができず。ただ、人間同士が出会って喜んだり傷ついたりして作り上げていく心根というか、人間らしさが希薄になっていきますね。そういう時、演劇が力になると思うのです。「地域で創る演劇」とは、文字どおりそこに住む人間たちが触れ合って創る楽しさや喜びを一緒に感じあうことを指します。演劇は、演じる・音楽を奏する・衣装を作る人などなど、さまざまな人によって創られていくの



初めてのホールでの公演「鯨の見た夢」の一場面

です。

——発足のとき呼びかけて、五人が集まったそうですが、現在の団員数は何人ですか。

岡部さん 三十人になりました。

十代から六十代までで、女性が三分の二を占めています。職業も学校の先生、保母、雑貨屋経営、会社員、地方公務員といろいろです。

——仕事を持ちながら演劇をする。時間のやりくりが大変では。

岡部さん プロの場合、僕がいこ場に行った時、全員がそろってないと怒りますが、「川崎演劇座」の場合は「時間までに仕事を切り上げてよく来てくれたね」という感じになりますね。

——団員の中に演劇の経験者、未経験者が混じっていると、けいこの調整もむずかしいのでは。

岡部さん 演劇の場合、プロとアマの差はあまりないのです。プロの演劇より高校の演劇のほうが心の奥底にしみ込むこともありま。演劇は、スターがいい衣装を着て、セットにお金をかけてやる場合もあれば、セットらしいものが無くても出来るものもあるのです。こうして秋山さんと話をして、これもひとつの演劇です。

——セットはなくてもできるということですが、普通は大道具とか、衣装とか、いろいろ大掛かりになると思いますが、「川崎演劇座」の場合は……。

岡部さん みんなで工夫してやっています。スタッフの友達にも呼びかけ、結構手伝ってくれています。打ち上げのときは、五十人もいるのです。僕が入り込む余地がないという感じですが、それがいいのです。演劇には、裏で支える喜びもあるのです。人と人が触れ合っていくことがこれからの時代、とても大切だと思います。

ね。

岡部さん 「川崎演劇座」の場合、まず、みんなが楽しんで創るという事を心がけています。地域にいる人たちが、演劇を通じて楽しむ、お互いの存在を認識し合うことが先です。最終的にいい作品になればいいとは思いますが……。今まで演劇を知らなかった人たちが出会い、同じ時間を共有する。このことが、のちのち地域における演劇の裾野を広げていくことになるような気がします。

——けいこは、どこでどんなふ

“すばらしい失敗”の体験 相互信頼、責任感、喜びへ

うにされているのですか。

岡部さん 毎週水曜の夕方から高津市民館でしています。最初のころ、川崎の民話「タフンバル」「ザットの頭」をテキストにして、今ふうにアレンジして演じてみようと考え、全員に脚本を書いても

らい、それをグループで発表させました。原作は、旅先でぼた餅を食べる話なのですが……。みんな面白いアレンジをして、各人が違った脚本をつくったのです。

岡部さん 僕の本で年に一回公演をしています。ここには各劇



岡部さん 僕は脚本を中学二年から書いていたのです。それは映画監督になりました。岡本喜八さんが映画監督としてデビューされたのがきっかけで、岡本監督へ自分の書いたシナリオと手紙を送っていました。岡本監督はその都度、誤字脱字を直して送り返してくれました。返事が来なかつたら、僕が上京することもなかったでしょうね。上京したとき映画は斜陽で、それで演劇の世界に入ったわけです。

それは、いつごろですか。

岡部さん 東京に出てきたのが昭和三十九年の東京オリンピック



プロローグは幼稚園児の夢見ヶ崎動物公園への遠足

物もアレンジするわけですか。

岡部さん そうですね。内輪の発表会も三カ月に一度しました。観に来る人は団員に誘われた十〜二十人ですが、団員は自分たちで衣装を作って、やっていましたよ。

岡部さん 昨年十月三日(土)、麻生市民館大会議室で、第一回公演をしたのですが、そのときの脚本は、僕の本「夢見た夢子」を団員みんなで川崎版にアレンジしたものです。「脚本を書く」ということは、演劇人としての基本的行為なのです。その積み重ねがあつ

たから、アレンジが出来たのです。

「夢見た夢子」は、美空ひばりの時代の作品で、戦後引き上げてきた一家が港町でいろいろと苦労する話なのですが、これを現在の川崎の話にアレンジしたのです。

岡部さん かなり以前から長崎市で「岡部演劇塾」をつくり、公演をされているそうですが。

岡部さん 僕の本で年に一回公演をしています。ここには各劇

岡部さん 僕の本で年に一回公演をしています。ここには各劇

岡部さん 僕の本で年に一回公演をしています。ここには各劇

岡部さん 僕の本で年に一回公演をしています。ここには各劇

ほんねインタビュー

の年です。人生は、どのくらい多くの素晴らしい人と出会うかです。

——岡本監督もご近所でしたか。

岡部さん ええ、岡本監督に誘われて、ここに住むことになったのですから。この辺には、若い優秀な演劇人がたくさん住んでいます。「川崎演劇座」を二年やってきて、若手にすべてを任せて継続させたいとも思っています。

——岡部さんがご意見番になっ



てですか。

岡部さん それ、いいね。彼らの活動の場をつくることも必要ですが、劇団というのは一度消えるともう一回灯をつけるのはむずかしい。今まで何度も劇団が消えた哀れさを見てきていますが、僕が最初につくった劇団「空間演技」は活動を始めて三十年になります。

——演劇は、時代を映す鏡のよ

画を考えそれを舞台に乗せませんが、もっとも喜びや満足感を覚えるのはどんな時でしょうか。

岡部さん いま、企画しているのは再来年のことです。たとえば多摩川を題材にして、どのような舞台にするか考えますが、企画して話し合っていて、だんだん具体的に

なっていくその過程が、いちばん面白いのです。それは本が出来上がるまでの楽しさとか、お互いが譲らずに意見を言い合った後の心地よい疲れとかです。

——役者さんには味わえない劇作家、演出家だけの楽しみですか。

岡部さん 僕にとっては企画して本を書き、演出をして初日の幕が開いたときが感動のピークです。その後は、役者さんとスタッフにバトンタッチするという感じです。

——後ろの席で、ずーっと観ていたいということは……。

岡部さん 幕が開いたら、作品は僕の手を離れたのですから、僕がずーっといたら、役者は迷惑です。けいこの時は、役者が僕の言葉を神の言葉のように聞きますが、初日が開いたら「自分たちのものだ」となるのですよ。

——「自分たちのもの」という

秋山雅子さん



のはすごいですね。そう感じられる舞台をつくるのが、団員の方の自信につながるわけですね。

岡部さん そうなのですが、どこかで手抜きをすると駄目です。「俺はやったよ」というものがあるれば、本来の人間の喜びみたいなものがでて、お互いを認め合いない信頼し合うことができるようになります。「舞台をみんなで作った」という喜びを一回味わうと、いままでの価値観が変わりますね。

——人間への価値観ですか。

岡部さん 舞台はやり直しがきかないので怖いけれど、やるだけやっつて、転んだり、とちったりすることは「素晴らしい失敗」だと思っています。ですから、それを叱ってはいけません。僕の仕事は、その人のいいものだけを舞台に上げて、悪い部分は削ることです。今

秋山 雅子さん

あきやま・まさこ=1962年、甲府市生まれ。短大卒業後、NHK甲府、テレビ神奈川アナウンサーフリー。現在、FM K City (79.1)「かわさきFM」パーソナリティも。多摩区在住。

の時代、批判や要求はあっても、自分で責任を取ることが極めて少ない。ひとつの役を演じることは責任を取ることですので、喜びが味わえるのです。責任を伴わない仕事をして、本当の喜びを感じることはできない、と思いますね。

——共生社会とは、それぞれの人間の良さが生かされ、それぞれの人が責任を分かち合うことですね。今後の抱負をお聞かせ下さい。

岡部さん 今までの創作活動と演劇へのかかわりをどれだけ持続させていけるのか。自分の今のエネルギーをどこまで保ちうるかです。これが今後の自分に対するテーマになってくるでしょうね。

題字は高橋清・川崎市長

構成／富樫 恭子

文責／田中 園

カメラ／山本 綾子

はりきってます グループ紹介

エイズの乳児に「おくるみ」送る

ABCキルト川崎支部

「エイズに苦しむ世界中の赤ちゃんと、ぬくもりのある『おくるみ』を送ろう」と、色とりどりの木綿の布を縫い合わせキルト作りに励んでいるのは、「ABCキルト川崎支部」―川野女子代表(61)―ら十人。毎月第一月曜の十時半から中小企業・婦人会館で、楽しいおしゃべりを交えながら、手作りに精を出している。

この日は、各人が以前から制作中の幼児用おくるみ作りの続きで、大きさは百センチ四方。リサイクル・バザーで手に入れたり染め直した布を、小さく裁断し九枚分を縫い合わせる(九パッチ)。それを斜めと真つすぐにつなぐと、同会の特徴ある図柄になる。裏地をつけ、綿を入れ、一枚の大きなおくるみが完成していく。赤いハートの図柄を入れたものは「十年前、娘のお弁当袋を作った布きれだわ」と、思わず懐かしそうな声をもらす会員もいる。

仲間と楽しむ

学び

活動する

仲間を助ける

赤ちゃんの指が引っかからないよう、細かい針目で丁寧な仕事をするので、布を切るところから出衆上がるまで百時間はかかる。

今までに五十枚を作り、アジア・アフリカ諸国などに送っている。それをもらった赤ちゃんが「自分だけの大事なものと肌身離さず過ごし、病状が好転したと、現地の医者から感謝の報告もきた。同会の発足は四年前。「市消費者の会」が「かわさき婦人まつり」でエイズを取り上げたことがきっかけで、「ABCキルトJAPANA

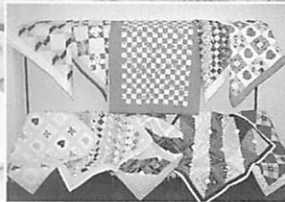
の存在を知り、川野さんが仲間呼びかけた。「ABCキルト」の活動は一九八八年、アメリカの一女性によって始められ世界中に広がった。日本では福岡が中心で、七月末、全国的な研修会も行われた。

当初から参加している渡辺久代さん(71)は「孫に贈るつもりで作っています」と優しい表情。梶ヶ谷雪香さん(59)は「ほかのボランティア活動もしていますが、少しでも社会のお役に立ち、他人が喜ぶ顔を見るのがうれしい」と元気に語り、エイズ教育について「中学校で積極的に取り上げてほしい」という。

最近高齢のお母さんを見て考えるところがあるという藤原充子さん(69)は「家でもできるし、自分に向いています。今後も打ち込んで、生きがいにしたい」と、自立したおばあちゃんを目指す。川野代表も「理解者を増やし、ますますこの活動を広げたい」と意欲的に話す。

連絡は☎・FAX(911)8996の川野さん。

文／小誌・北川春江
カメラ／小誌・菅原純子

色彩豊かな布縫う
女たちの国際貢献

大事な個々の足跡 味ある文章つくる



この日は、半年に一度発行している文集「たま川」第十八号に収める、柿本六弥さん(72)の原稿「苦悩と痴呆」を推敲する。

進行役の清山会長が段落ごとに読み上げ「ここまで何か気になったことはありませんか」と聞く。

「物心ついたころより」という表現が二度あります。どちらかを違う表現に変えたらどうでしょう」と穏やかな口調で話す女性。

「八行目の『弔慰』は、『弔意』ではないですか」の声に、すぐに辞書を引き「この場面は、遺族を慰めるところだから原文どおりでいいと思います」と男性。

時にはひとつの文章をめぐる、熱気を帯びたやりとりが交わされることも。「その部分は、みなさんの意見を参考にもう一度考えてみます」と筆者が応える。

「推敲は学び合いの場。自分ではいい表現と思っても、読み手に伝わらないこともあり、仲間から

指摘されて気づくことが多い」と黒沢知子さん(53)はいう。

この日の後半は、フリーライターの鈴木政子さん(60)を講師に招き、文章の七要素や添削について学んだ。

会の誕生は九年前。同館主催の成人学校の受講者有志で発足した。会員の夢は、文集に載せた原稿や、書きためたものをまとめて、一冊の個人史を作ることだという。

成人学校の時から指導している鈴木さんは「自分史は事実が大事。その人でなければ出ない味、それを大切にしています」と話す。

発足時からの会員、山田秀雄さん(83)は「思いやりがありなごやかな雰囲気、ここへ来るのが楽しみです」とうれしそう。

富田育男さん(62)は「感動を文字に」と先生に教わりました。自分をさらけ出して書くことで気が楽になりました」と笑顔。

伊藤文字子さん(63)は「自分がどう生きてきたかを子供に伝えたいと思いついてきました」と話す。連絡は☎(333)9369の同会長(FAXなし)。

文／小誌・菅原純子
カメラ／小誌・北川春江

自分史たま川の会(川崎区)

体験や感動をつづる

幼いころの暮らしや街のようすをつづった「ふるさと点描」、戦争体験を母校の子供らに聞かせた「伝えたいこの子らに」、歌にまつわる思い出を書いた「船頭小唄」など、「自分史たま川の会」≡清山絢子会長(50)ら十七人≡の文集には、それぞれの人生が刻まれている。

第二・四の水曜日に、川崎区の

仲間と楽しむ 学ぶ 活動する 生活の知恵

学習・文化情報

参加したい催しがある



催し

①キャンドル作り②パソコンでクリスマスカードを作る③人形劇④映画上映◆東芝科学館

①は12月23日(祝)10時と13時半から▽24日(金)13時半から。グラスとカラーペンでステンドグラスを。対象は小学生以上。300円。先着各50人②は12月24日(金)25日(土)13時半から。対象は小学生以上。先着各20人③は12月25日(土)13時半から。「三びきのこぶた」他を等身大のぬいぐるみで。対象は親子。当日先着250人④は同27日(月)10時と13時半から。子供向けアニメ。対象は親子。当日先着各150人。②③④は無料。囲碁(549) 2200の同館。川崎駅からバス。

字幕スパー②は12月19日(日)10時と14時から。日本語吹き替え。いずれも無料。各先着500人。囲碁(888) 3131の同館。

「シネマクラブ」美女と野獣ベルの素敵なブレゼント◆川崎マリエン」12月19日(日)14時から。日本語吹き替え。無料。当日先着300人。囲碁(287) 6009の川崎港振興協会。[年の瀬の黒川でおもつき◆黒川青少年野外活動センター」12月23日(祝)10時から。もちつき、しめ飾り作り、畳干しを体験。参加費300円。先着150人。小学3年以下は要保護者。同12月1日(火)10時から(986) 2511の同館。[家族で楽しむ黒川のアウトドアく地図を手に野山を駆けよう◆黒川青少年野外活動センターとその周辺」来年1月30日〜3月12日の隔週日曜10時から、全4回。地図を読み取り地形を探索。対象は小学生と

市外局番のないものは044

その保護者。講師は地図旅行作家の大沼一雄さん他。参加費千円。50人、抽選。同12月26日(日)までに往復はがきに〒、住所、全参加者の氏名、年齢、性別、学校名・学年、を記し〒21510035黒川313の9同館。☎(986) 2511。

「職人と作る「木のいす」

◆黒川青少年野外活動センター」来年1月22日(土)と23日の第2土曜10時から▽3月27日(月)〜28日(火)、キャンプ。対象は小学4〜中学生。講師は木工建築士の吉田武さん他。参加費3千円。30人、抽選。同12月26日(日)までに往復はがきに〒、住所、氏名、年齢、性別、学校名・学年、保護者名、を記し〒21510035黒川313の9同館。☎(986) 2511。

①新春ゲーム大会②パソコンお絵描きコンテスト

◆東芝科学館」①は来年1月6日(木)〜8日(土)10時と

13時半から。ビンゴと缶つみ競争。対象は親子。無料。当日直接②は同6日(木)〜8日(土)10〜15時の5回。対象は小学生以上。無料。先着各20人。いずれも景品あり。囲碁(549) 2200の同館。川崎駅からバス。「ホワイト・クリスマス」我が家のクリスマスツリーとリースを作ろう◆玉川大学」12月11日(土)10時と13時半から。花材・装飾品代込み1万円。各20人。囲碁042(739) 8895の同大学継続学習センター。玉川学園前駅下車。[囲碁・将棋大会◆麻生老人福祉センター」来年1月18日(火)9時半から。対象は市内在住の60歳以上。并当代込み800円。定員先着囲碁60人・将棋20人。同12月6日(月)〜20日(月)に費用を添えて来館。☎(986) 8956。

学習・文化情報

①星を見る夕②星の撮影教室◆市青少年科学館」①は12月11日(土)18日(日)17時半から▽来年1月8日(土)18時から木星、土星、星団を観察。曇り、雨はフナタリウム②は来年1月28日(金)19時から。スバルを撮影。対象は小学5年以上。先着10人。雨天中止。いずれも無料。小学生以下は要保護者。同①当日直接②12月22日(火)から☎(922) 4731の同館。

「観察会◆生田緑地」12月12、19日の日曜、来年1月9日(日)9時50分、市青少年科学館集合。野鳥、昆虫、植物の自然解説。無料。申し込み不要。囲碁(922) 4731の同館。

①こそだて・ばあく②クリスマスおはなし会◆プラザ大師」①は12月15日(火)9時半から。乳幼児とママが自由に集う。名札代など250円②は12月22日(火)14時半から「ブレイメンの音楽隊」などの影絵劇。無料。囲碁(266) 3550の同館。

「むかしの生活体験◆日

学習・文化情報

たのしいスポーツがある

本家園」12月5～19日、来年1月23、30日の日曜など7回。「米コース」「大工仕事コース」は10～15時。「民具コース」は10時と13時から。対象は小・高校生。無料、入園料は必要。当日各先着20人。☎(922)2181。

「小正月もの作り」まゆ玉団子◆日本家園」来年1月9日(日)10時から。対象は小学生以上。千円。20人抽選。低学年は要保護者。☎12月20日(月)までに往復はがきで、往信部分に住所、氏名、☎、講座名と受講日、学年、「ステージ・アップで知る」と記し、返信部分にあて名、あて先を記して214-00032 枅形7の1の1、同園。☎(922)2181。

「花壇づくりに参加しませんか◆津久井道登戸陸橋近くの道路拡幅用地」来年1月22日～3月18日の土曜14時から▽3月26日(日)9時から全4回。デザインから花の選定、植え込みを手がける。対象は小学生以上。30人、抽選。☎12月

20日(月)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎を記して214-48570 (住所不要) 多摩区役所区政推進課内、多摩区イメーリアップ委員会。☎(935)3131。

「さいわいこどもクラブ

◆幸市民館」来年1月22日～3月25日の土曜10時から、全6回。工作など手作り品を制作。対象は小学生以上。無料。先着20人。☎1月8日(土)10時から☎(541)3910の同館。

スポーツ



「女性硬式テニス教室①初級コース②中級コース◆川崎市民プラザ」来年1月17日～3月27日の毎月曜

①10時～12時②13時～15時、各全10回。各1万2千円。定員は①30人②20人、抽選。☎12月18日(土)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎、コースを記して213-00014 新作1の19の1、同所・同教室係。☎(888)3131。

「スポーツ教室」健康づくりリズム体操◆幸スポーツセンター」来年1月12日～3月15日の毎水曜14時、全10回。15歳以上40人。4千円。☎12月22日(火)14時に同館で抽選。☎(555)3011。

「寒げいこ◆石川記念武道館」来年1月6日(木)7日(金)の10～20時半と9日(日)10～15時。剣道・柔道・空手道・合気道・なぎなた・少林寺拳法のけいこ。小学生以上。定員は剣道百人、その他は各50人。無料。☎12月5日(日)10時に同館で抽選▽1月9日(日)12時と3時から鏡開き。☎(544)0493。

「新卓球(ラージボール)②ソフトエアロビック◆会館とどろぎ」受講者を随時募集①は毎週木曜10時～12時。受講料3千2百円②は毎週月曜18時半～20時。4千2百円。☎(733)3333。

「親子体力づくりI②同II③トランポリン◆とどろぎアリーナ」①は来年1月11日～3月14日の毎火曜10時、全10回。3・4歳児とその保護者40組。3千円②は来年1月13日～2月10日の毎木曜10時、全5回。30組。千5百円。保育あり(10か月以上)③は来年1月19日～2月5日の水曜と土曜14時から、全5回。小学生30人。千5百円。☎12月14日(火)10時②は16日(木)10時③22日(火)14時に同館で抽選。☎(798)5000。

「ヨガ②はつらつ健康体操◆とどろぎアリーナ」①は来年1月14日～3月24日の毎金曜10時、全10回。15歳以上40人。4千円②は来年1月12日～3月15日の毎水曜10時、全10回。40歳以上40人。4千円。☎12月17日(金)②同15日(火)10時に同館で抽選。☎(798)5000。

「親子スポーツチャンバラ②テニス教室③健康・体力改善教室◆市体育館」①は来年1月22日～2月19日の毎土曜14時、全5回。小学生以上とその保護者30組。無料②は来年1月14日～3月24日の毎金曜18時半、全10回。15歳以上40人。4千円。☎1月8日(土)14時②7日(金)18時半③7日(火)14時に同館で抽選。☎(200)3255。

「親子でエアロビクス◆麻生スポーツセンター」来年1月21日～3月31日の毎金曜10時、全10回。1歳半～3歳半までの幼児とその保護者30組。4千円。☎1月14日(金)10時に同館で抽選。☎(951)1234。

「ストリートダンス入門②バドミントン教室③卓球道場◆高津スポーツセンター」①は来年1月12日～3月15日の毎水曜19時、全10回。4千円②は来年1月20日～3月23日の毎木曜10時、全10回。受講料と教材費で5千円③は1月11日～3月14日の毎火曜14時、全10回。4千5百円。対象はいずれも15歳以上40人。☎12月22日(火)19時②16日(木)10時③21日

18時半、全10回。15歳以上40人。受講料と教材費で6千5百円③は来年1月14日～3月24日の毎金曜14時半、全10回。15歳以上35人。4千円。☎1月8日(土)14時②7日(金)18時半③7日(火)14時に同館で抽選。☎(200)3255。

学習・文化情報

やさしく音楽がある

ステージ

(火)14時に同館で抽選。
(813) 6531。

①洗足学園大学プリティッシュ・プラス定期演奏会②シンフォニックウインドオーケストラ演奏会③アカデミー室内オーケストラ

④打楽器アンサンブル定期演奏会◆同園前田ホール

①は12月2日(木)18時半開演。ウィリアムズ「プラスバンドのための変奏曲」ほか②は12月3日(金)18時半開演。ホルスト「惑星」ほか

③は12月21日(火)18時半開演。バイオリンと指揮、海野義雄。バツハ「ブランドンブルク協奏曲第5番」ほか④は12月22日(水)18時半開演。ゲストは大坂昌彦。

J・ベック「ドラムセット協奏曲」ほか。いずれも千円。☎(856) 2981の同大演奏部。溝ノ口駅下車。

「TUC」クリスマスコンサート◆玉川学園礼拝堂」12月17日(金)18時開演。新井知子のピアノ演奏。シ

ベリウス「ロマンズ変二長調作品24の9」ほか▽荒井恵美のソプラノ独唱。山田耕柞「この道」ほか。前売り一般2千5百円、中学生以下2千円。☎042(739) 8895の同大学習センター。

「フレッシェアンサンブルかわさき in 2000」◆麻生市民館」来年1月8日(土)14時開演。会場は大会議室。出演は町田佳織(ピアノ)

丸山朋文(チェロ)合唱団「たまとも」ほか。シューマン「幻想曲」ほか。岩本達明さんの指導でミニ合唱講座もあり。無料。当日直接。☎(951) 1300の同館。

「ランチタイムコンサート」マリンバから贈り物◆川崎市役所第3庁舎ロビー」12月15日(火)12時15分開演。出演は奥平哲也(マリンバ) 大形友希子(ピアノ)。S・フライン「慕情」ほか。無料。☎(222) 8821の市文化財団。

「新春初笑い寄席◆川崎市民プラザ」来年1月22日(土)18時開演。出演は三遊亭



円楽II写真右II、春風亭柳橋、牧伸II写真左IIほか。先着5百人。前売り券大人千8百円、子ども5百円。プラザフロントで発売。☎(888) 3131。



「東芝ライドオンコンサート」(ジャズオーケストラ)◆東芝科学館」12月23日(祝)14時開演。「ホワイトクリスマス」ほか。当日先着250人。無料。☎(549) 2200。川崎駅からバス。

「AMFC」クリスマスコンサート◆京浜楽器百合ヶ丘店ホール」12月19日(日)14時開演。地元の音楽愛好

家の演奏。クラシックからジャズ、童謡まで。無料。☎(951) 4089の福島さん。

ギャラリー

「スナック喫茶琴」12月30日(木)まで、「読売写真クラブ四人展」。風景、スナップなど。☎(544) 0507。鹿島田駅下車。

「会館とどろき」12月6日(月)〜17日(金)まで、中学校学級新聞コンクール作品展▽12月20日(月)〜来年1月7日(金)、同館講座の子ども絵画・書道展。☎(733) 3333。

「ギャラリー幸」12月10日(金)〜22日(水)、「寿・色紙展」。☎(555) 8181。川崎駅西口下車。

「ギャラリー絵夢」12月10日(金)〜15日(水)まで、稲美展。小誌の表紙絵作者、村楢広義さんが出品。☎03(3350) 4870。新宿駅下車。

「画廊ランプ屋」12月5日(日)まで、「レリーフ展」。松田重仁ほか6人の彫刻家

の作品▽12月10日(金)〜26日(日)、「8周年記念バザール」。版画、立体などの展示即売。☎(945) 4416。稲田堤駅下車。

「アートホール新町」12月25日(土)まで、「リバーカレント」の会11年度納会展。陶芸、書道、写真、絵画など。☎(344) 6444。川崎駅からバス。

「市平和館」12月11日(土)〜19日(日)、写真展「いま起きている戦争」。東ティモール、コソボ、ユーゴなどの戦争被害を撮った長倉洋海、南風島涉ほかの写真▽初日の13時からシンポジウム。東ティモールで活動したNGOのメンバー他の報告とビデオ上映。☎(433) 0171。武蔵小杉駅下車。

講座・講演

「きもの着付け◆中小企業・婦人会館」来年1月9日〜3月26日の毎日曜10時、全12回。対象は女性。先着30人。入会金3150円、受講料は約1万4千円。☎12月15日(水)8時半

学習・文化情報

探していた講座がある

から ☎ (422) 2525 の同館。

「講座」岡本かの子を読む
◆市民ミュージアム」

来年1月23日～2月13日

の毎日曜13時半、全4回。

講師は日本近代文学館の原

祐子さん。受講料2千円。

20人、抽選。 12月26日

(日)までに往復はがきに住所

氏名、☎、返信部分にあて

名を記し〒211-0005

2等々力1の2の同館「か

の子講座」まで。 ☎ (75

4) 4500。

①青年教室「パントマ

イム」心と体でコミュニケ

ーション」②ボランティア

講座③平和・人権尊重学級

◆多摩市民館」①は来年1

月14日～3月10日の金曜

18時半と土日の昼間、全

11回。対象は18～30歳の

市内在住・在勤者。教材費

のみ千2百円②は同1月

19日～2月16日の毎水曜

14時、全5回。簡単に便利

な介護服を作る。教材費の

み実費③は1月15日～3

月18日の土曜13時半(初

回は14時)全8回。「多様

性」と「豊かさ」をキーワ

ードに考える。無料。定員

は20～35人、先着順。 12

月12日(日)②15日(火)③

18日(土)10時から ☎ (93

5) 33333の同館。

「初心者向け古文書講座

「古文書に見る川崎の歴

史」◆市公文書館」来年1

月15日～29日の毎土曜13

時半、全3回。講師は柳下

顕紀・法政大史学会会員。

教材費のみ千円。30人、抽

選。 12月17日(金)までに

往復はがきに住所、氏名、

年齢、職業、☎を記し〒2

11-0005-1宮内4の1

の1、同館同講座係 ☎ (7

33) 39333。

「かながわオープン・カ

レッジ」豊かな家族関係と

自己カウンセリング講座◆

登戸ドレスメーカー学院」

来年1月17日～2月28日

の毎月曜13時15分、全7

回。受講料5千円。教材費

千5百円。講師は日本臨床

催眠心理学協会の大家正勝

さん他。先着70人。 11月

前中に ☎ (911) 22221

の同院。向ヶ丘遊園駅下車。

「社交ダンス講座◆会館

随時募集。毎週土曜10時か

ら。月謝4千2百円。講師

はソシアルダンスアカデミ

ーの高橋利夫さん。 11月

7(土) ☎ 33333の同館。

「新春創作教室①クレイ

アート②はた織り③絵画◆

市青少年創作センター」①

③は来年2月11日(例)12日

(出)13日(日)20日(日)の全4回

で①が13時半③が9時半。

②は2月11日(例)13日(日)

9時半の3回。全日程参加

できる①③小中生②は小3

～中学生。定員10～30人、

抽選。材料費は千～千5百

円。 11月9日(日)までに

往復はがきに教室名、住所、

氏名、性別、☎、学校名、

学年を記し〒214-000

34三田2の33303の1、

同センター。 ☎ (911)

1510。

「新春創作教室①パッチ

ワーク②絵手紙③七宝焼◆

市青少年創作センター」①

は来年2月2～23日の毎

水曜②は2月3～24日の

毎木曜③は2月1～22日

の毎火曜。時間はいずれも

9時半で全4回。材料費込

み3千2百円～4千円。対

象は成人。各30人、抽選。

11月9日(日)までに往復は

がきに教室名、住所、氏名、

性別、☎、年齢を記し〒2

14-0034三田2の3

303の1の同センター。

☎ (911) 1510。

「社交ダンス教室①初級

②中級◆川崎市民プラザ」

来年1月8日～3月18日

の土曜①は10時55分から

②は9時から、各全10回。

いずれも先着男女各40人。

受講料各1万2千円。 11月

受講料を添えてプラザフロ

ント。 ☎ (888) 3131。

「講演会」死をみつめる

◆平こども文化センタ

」12月10日(金)10時から。

東京女子医科大のチャフレ

ン、斎藤武さんが話す。千

円。保育あり。 11月前日に

☎ (865) 8056の堀内

さん。母親クラブ主催。

「公開講座」宮本百合子

の世界◆日本女子大西生田

生涯学習センター」作家、

宮本百合子の生誕百年。12

月4日(土)「百合子と佐多稲

子」と題し長谷川啓・城西

大女子短大教授がマ11日

(出)、百合子の「二つの庭」

「道標」を大河晴美・仁愛

女子短大講師が。各13時。

受講料各千円。教材費各百

円。 11月 ☎ (952) 68

22の同大西生田総務課。

読売ランド前駅下車。

「公開講座」私たちの生

活環境を見直そう◆日本女

子大西生田生涯学習センタ

」12月4日(土)「食品の安

全性について」横川洋子・

都立短大教授マ11日(土)「N

POが子ども」生活世界」

を交える」メディアと商業

主義からの自立」を田中雅

文・日本女子大助教授が。

各14時半。プリント代込み

各千5百円。 11月 ☎ (952)

6822の同大西生田総務

課。読売ランド前駅下車。

「朗読入門講習会◆市北

部身体障害者福祉会館」来

年1月29日～2月26日毎

土曜10時、全5回。市内在

住・在勤・在学の初心者20

人、抽選。無料。 12月21

日(火)～1月12日(水)までに

往復はがきに住所、氏名(ふ

りがな)、年齢、生年月日、

学習・文化情報

魅力的な講演がある

(811) 6631。

「私たちは高齢者教室仲間がいるから、もつと楽しい」◆プラザ橋」来年1月13日～3月16日の毎

木曜14時、全10回。60歳前後の25人。先着順。無料。 12月16日(木)10時から(788) 1531の同プラザ。

「市立看護短期大学聴講生・科目等履修生の募集」出願期間は来年1月24日(月)～28日(金)。入学選考料9千800円。書類審査し3月3日(金)に結果発表。入学科は市内在住者137500円、他は275000円。授業料は別。募集要項は同短大窓口で配布。詳細は(587) 3502の教務課。

①成人学校「続今昔物語集の世界」②女性学級「自分らしさを出していこう」◆岡上分館」①は来年1月12日～3月22日の毎水曜10時、全10回。受講料4千円。30人。抽選②は来年1月18日～3月21日の毎火曜10時、全10回。無料。先着20人。 1月5日(水)10時に来館②は1月11日

(火)10時から(988) 0268の同館。

「公開講座①初級シニア(高度情報処理技術者1種) 試験対策②スポーツ栄養③コンディショニング④成人救急法◆玉川大学」①は来年1月15～29日の土曜13時半、全3回。対象は来年4月に受験する人。受講料1万8千円②は1月29日と2月5日の土曜9時、全2回。スポーツ栄養学の基礎や栄養補助食品の摂取の仕方を学ぶ。1万8千円③は1月22日、2月12、26日の土曜9時、全3回。スポーツ競技のコンディショニングドリルの紹介と実施方法を。3万8千円④は1月22日、29日の土曜、9時～17時。いずれか1日受講。1万7千円。定員は16～30人、いずれも先着順。 042(739) 8895の同大継続学習センター。玉川学園前駅下車。

「政治社会参画セミナー」21世紀をどう生きるか」◆市男女共同参画センター」12月20日(月)14時半。

講師は木村尚三郎・東京大名誉教授。50人、抽選。無料。2歳以上の保育あり。 12月13日(月)までに往復はがきに住所、氏名、(813) 0808。

①健康ビデオ講座②食生活講座◆宮前老人福祉センター」①は12月20日(月)13時半。「脳梗塞の予防と自覚症状について」をテーマに内科医の加藤剛志さんが話す。無料。60歳以上。先着40人②は来年1月5日(水)と20日(水)の9時20分。「胃腸にやさしい食生活」について管理栄養士、志賀美知子さんが話す。調理実習あり。材料費500円。先着各16人。 12月15日(水)9時②12月16日(木)10時から(877) 9030の同センター。

「点字入門講座◆川崎授産学園」来年1月17日～2月21日の毎月曜10時、全6回。教材費500円。25人、抽選。 1月4日(水)までに往復はがきに住所、氏名、(200) 2262の同セ

を記し、〒215-0001細山1209の同園。(954) 5011。新百合ヶ丘駅よりバス。

「熟成発信学級公開講座「花・風にひらく」母住井すゑと娘・ペンの絆◆プラザ田島」来年1月13日(木)14時。ジャーナリスト、増田れい子さんが話す。無料。30人、抽選。 12月15日(水)までに、往復はがきに住所、氏名、年齢、(813) 9120。

「パソコン研修◆市産業振興会館」初心者、経験者、中高年向けの22講座の受講者募集。受講料は6千～4万5千円。詳細は(548) 4121の市産業振興財団情報開発課。

「わたしたちのテスト教室」身近な食品の添加物を考える◆市消費者行政センター商品テスト室」12月10日(金)10時。ハムやソーセージがなぜ腐りにくいのかを考える。先着10人。無料。 12月1日(水)9時から(200) 2262の同セ

ンター。①高齢者教室・いきいきセミナー②女性セミナー◆プラザ大師」①は来年1月26日～3月29日の毎水曜14時、全10回。介護保険についての学習や俳句づくりなど。大師地区の60歳前後の人②は来年1月28日～2月25日の金曜10時、全4回。性の役割分業やこどもの権利について。2歳以上の保育あり。いずれも無料。先着順。 12月22日(水)②来年1月14日(金)10時から(266) 3550の同プラザ。

「成人学校①川柳入門②デッサンの基本◆プラザ大師」①は来年1月26日～3月8日の水曜10時、全5回②は1月28日～3月3日の金曜18時半、全5回。受講料はいずれも2千円。教材費実費。各35人、抽選。 1月7日(金)10時②同日18時半に来館。(266) 3550。

①平和・人権尊重学級「性ってなに」②シルバール・セミナー「地域に生きるということ」③女性セミ

学習・文化情報

挑戦したい講座がある

ナー「21世紀に向けて」と女
男のパートナーシップ」④
家庭教育学級「子どもを
見る目を問いなおそう」◆宮
前市民館他」①は来年1月
29日～3月18日の毎土曜
13時半、全8回。性の問題
を人権という角度から考
える②は1月19日～3月
22日の毎水曜10時、全10
回。健康、いきがいさがし
など。場所は有馬老人いこ
いの家。対象は60歳前後
の人③は1月20日～3月
23日の毎木曜10時、全10
回④は1月20日～3月16
日の毎木曜10時、全10回。
子どもの権利条約について
学ぶ。いずれも無料。③④
は1歳半以上保育あり。定
員は先着25～40人。①
12月18日(土)②16日(木)③④
17日(金)10時から☎(8888)
3911の同館。

〒214-0012 中野
島6の13の5、同館。☎
(935) 13599。
「①女性学級」パートナ
ーと学ぶ」②青年教室③平
和・人権尊重学級「共生の
まちづくり」◆幸市民館」
①は来年1月15日～3月
25日の土曜14時、全10回
②は1月21日～3月26日
の金曜18時半と土日の昼
間、全9回。対象は青年男
女③は2月5日～3月25
日の土曜13時半、全8回。

会員募集

●あすなるを支える会
《森山定雄代表「少年の祭
典・ボレロ」の演奏会など、
川崎を中心に活動している
若い音楽家の集まり「芸術
村あすなる」を、一市民とし
て支えていく会です。会費
一口年額3千円。募集期間
は12月25日(土)まで。連絡
は☎(933) 8724の
芸術村あすなるの金柄さん。

お断り 「編集後記」は
紙面の都合で休みます。

いずれも無料。定員は先着
20～30人。①12月10日
(金)②1月7日(金)③1月22
日(土)10時から☎(541)
3910の同館。
「西洋建築史入門」日

川崎市岡本太郎美術館がオープン

高橋市長「21世紀の創作の場」

「炸裂(さくれつ)する
芸術」を一堂に展示し、そ
の思想を後世に伝える川崎



鑑賞する高橋清・市長
(中央)と、小泉昭男・市議
会議長(右端)。左端は、説
明の村田慶之輔・館長。

「本民家園」来年1月22日
～3月18日の土曜13時、
全8回。原家で。講師は吉
田鋼市・横浜国大教授。受
講料4千円。40人、抽選。
①1月12日(水)までに往復

市岡本太郎美術館(村田慶
之輔・館長)が10月30日、
多摩区枳形の多摩丘陵の一
角にオープンした。

展示室に入ると足元から
天井まで真っ赤な空間が広
がり、観客は「太郎ワール
ド」に引き込まれる。

この開館記念展「多面
体・岡本太郎」には有名な
「太陽の塔」「母の塔」もあ
るが、壁をキャンパスにし
たコンピューターグラフィ
ックの作品や写真もあり、
文字通り岡本太郎の作品が
多面体であることを強烈に
印象付ける。

その前日、開館記念式典
があり、高橋清・川崎市長
は「岡本太郎さんの芸術理

はがきに住所、氏名、☎、
講座名、「何で講座を知っ
たか」を記し、〒214-
0032 枳形7の1の1、
同園。☎(922) 218
1。

念を核として、新しい芸術
や文化を創作していくこと
に意義と役割があり、この
美術館が21世紀に向かっ
て躍進する国際都市・川崎
の文化・芸術の原動力であ
る」と述べ、見る美術館で
あると同時に、新たな芸術
を創作し発信する美術館で
あることを強調した。

建設の準備のころから助
言をしてきた美術評論家・
本間正義さんは「この美術
館は、複雑で多彩な表現を
もち、個人作家の足跡を検
証する美術館だが、国際的
な発言力をもつ。館を運営
するスタッフが、現代美術
の先端を切る創意工夫を重
ねた企画展示」と将来に
も期待するあいさつをした。

同館へは、小田急線向ヶ
丘遊園駅から徒歩17分。2
年後、バスが美術館前まで
運行するという。

新春号(1,2月)は
1月7日(金)に
発行します

●発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団
電話044(952)5000代

FAX 215-0004

川崎市麻生区万福寺一の二の二、新百合21ビル
044(952)1350 編集人・田中 園

市内で活動の文化団体に
ホールを無料開放

申し込み 12月22日(水)まで

（財）川崎市生涯学習振興事業団は、おもに川崎市内で活動する文化団体・グループに、新百合21ビルの「トウェンティワンホール」（多目的、小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩2分）とその付帯設備を無料で開放・貸し出す支援をします。ジャンルは、音楽、舞踊（ダンス）、演劇、映像などの文化・芸術です。

●貸し出し月と貸し出し団体数

2000年8月に3団体

●申し込み

☎733-6626の当事業団学習事業室
(中原区今井南町514の1)

モーリス・ラヴェル作曲

ボレロ

12月19日(日)午後4時開演

市教育文化会館 無料

(JR川崎駅下車)

[指揮] 安部順子

[出演] 1000人の市民によるオーケストラ・合唱団/花岡陽子スパニッシュダンスカンパニー

●問い合わせ ☎(933)8107 ボレロを楽しむ会事務局

後援/当事業団ほか

川崎市岡本太郎美術館がオープン

開館記念展

多面体・岡本太郎

～哄笑するダイナミズム～

会期 来年4月9日(日)まで

9:30～17:00(入館は16:30)

休館 月曜、祝日の翌日、年末年始

平面作品 「傷ましき腕」「片山美智子像」など
油絵を中心に約60点

立体作品 「樹人」「太陽の塔」など
彫刻、モニュメントの原型約20点

●観覧料 一般900円/小～大学生500円

岡本太郎美術館 ☎(900)9898

